

1. 施設の利用状況に関する事項

①施設の利用状況

令和5年度の総来園者数は191,491人（宿泊込み195,562人）で、対前年度比105.1%（宿泊込み105.6%）である。新型コロナの5類感染症移行に伴い人の動きが活発化したことや、年末大感謝祭などの復活や月次イベントの拡充に伴い各種体験利用者及び宿泊者が増加した。

教育ファーム（学校関係）では、延べ176校8,360人が来園した。前年度と比較して、利用学校は5校（379人）増加した。小学校の利用割合が最も多く、全体の76%（前年80%）を占め、次いで幼・保園14%、中学校6%、特別支援学校3%であるが、県外の中学校からの利用もあった。学年別では小学校2年生（54%）が最も多く、次いで5年生（12%）であり、月別の利用数では5・6月の利用が多かった。宿泊利用の学校は、延べ6校（前年11校）と減少したが、感染の懸念や学校行事の見直しにより日帰りに変更した学校があった。参加校の評価と満足度は高く、アンケートでは100%の学校から「農業体験学習のねらいは達成できた」という評価を得た。なお、小・中・大・専門学校の計7校から、畜産動物飼養管理などの職場体験を受け入れた。

教育ファーム（一般）は18,476人の受入となり、うち個人利用が15,276人（前年12,421人）、団体利用は46団体3,200人（前年22団体919人）であった。コロナ禍で中止されていた自治会・子供会等の団体利用が戻ってきたことに加えて、JAや食品会社との連携企画イベントも集客に寄与し増加につながった。一般利用者が行った体験は、多い順に「餌やり」「野菜収穫」「搾乳」であり、月別の体験者数は8月が最も多く、次いで5月・9月の順であったが、季節の農産物や地域の特徴と絡めた企画は、いずれも人気が高く好評であった。

食品加工支援事業では、食品加工の基礎を学ぶための講座は、全59回に404名（前年53回336名）が受講した。講座以外の加工室は延べ364回720名（前年343回655名）が利用した。新型コロナ5類移行により講座受講者数は前年比2割増と大幅に増加したが、加工室利用は猛暑が長引いた影響で農産物収穫量が少なく、新商品試作の機会が減少した要因から前年比1割増に止まった。個別の加工室利用者は農業関係者が65%（前年84%）であるが、猛暑による原材料不足で生産者の加工機会が減り大学生等の利用割合が増えた。新規に商品化した加工品は、製品がいちごジャムなど12品、一次加工品がルレクチェ搾汁1品、またデザイン作成はラベルなど8品、技術相談の回数は123回であった。能登半島地震の被災生産者が緊急避難的な製造拠点として活用していることが特筆される。

就農支援事業では、一般市民を対象とした「みらい農業塾」に21名が受講し、露地野菜の基本的栽培知識・技術を学んだ。就農相談業務では、相談窓口を常設して相談が13名（新規就農2名、就農希望9名、農業法人2名）からあり、内容は就農全般・新規作物導入や規模拡大・公的支援策等であった。新潟市で就農を検討している人を対象とした野菜および果樹栽培体験研修に、野菜コース6名・果樹コース4名が受講した。また新規就農者から体験を語っていただく「新規就農者応援シンポジウム（テーマ：私はこうして新潟市に就農した）」を開催し就農希望者など35名が参加したほか、経営管理力の育成を目的とした「農業経営研修（計3回）」に新規就農者など24名が参加した。

宿泊施設には4,071人が宿泊し、コテージと宿泊棟を合わせた年間稼働率は35.5%と前年度比5.6ポイント上昇して、旅行需要の回復やスポーツ大会合宿の復活、北陸応援割効果などが奏功してコロナ禍前の8割の人数まで回復した。

農産物直売所の来客数は、異常気象による農作物の不作や物価高による節約志向に加えて近隣スーパーとの競合により前年度比減少した。農家レストランへの来客数は、メニュー刷新や店内改装に取り組んだものの年度末約1か月半の休業が響き同じく前年度割れとなった。

施設の周知と誘客を図るべく、施設の特徴を生かしたイベントをほぼ毎月開催した。特に周年祭（5月）・お米祭り（9月）・収穫祭（10月）・ふるさと祭り（1月）を大イベントと位置付け、「G7記念GW祭」・JA全農共催の「お米の食べ比べ」・「新潟食べ物博士グランプリ」・地域コミュニティ協議会共催の「第7回どんと焼き」等を開催し、農業の理解を深め郷土愛を育む内容とした。インターンシップ研修に新潟大学農学部（食品加工）・新潟農業バイオ専門学校（新規就農）・開志専門職大学（デザイン）を受け入れたほか、未来の担い手を応援する趣旨で県農業大学校生による農産物販売会の会場を提供し全品売り切れの盛況であった。

紙媒体の月刊チラシ通信のほかホームページやSNSにより積極的な情報発信に努めるとともに、メディアを通じて幅広い年齢層への周知浸透を図るため、社会貢献や農業体験の様子など随時プレスリリースを行い、新聞各紙やテレビ各局で複数回報道された。施設維持管理は法令に定められたものを含め適宜実施し、クレームや怪我、物損に対してもトラブルや事故を回避すべく対応した。

②来場者数

単位：人

項目	令和5年度	令和4年度	対前年度比
教育ファーム事業（学校）	8,360	7,981	104.7%
教育ファーム事業（一般）	18,476	13,340	138.5%
食品加工支援事業	1,534	1,474	104.1%
就農支援事業	998	928	107.5%
視察	210	246	85.4%
自主事業（その他体験・物販・施設利用等）	35,583	30,283	117.5%
直売所にいがた村	113,212	114,106	99.2%
農家レストラン	13,118	13,343	98.3%
その他	0	446	皆減
計	191,491	182,147	105.1%

③宿泊

1) 宿泊者数

単位：人

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
学校	170	198	-28	
一般	3,901	2,863	1,038	
合計	4,071	3,061	1,010	

2) 稼働率について

単位：％・ポイント

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
コテージ7棟	33.2	26.9	6.3	
宿泊棟	51.6	50.4	1.2	
総稼働率	35.5	29.9	5.6	

④教育ファーム

1) アグリ・スタディ・プログラム

単位：件・人

R5年度														
合計	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
	192	8,360	24	685	13%	134	6,872	70%	11	387	6%	23	416	12%
R4年度														
合計	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
	183	7,981	17	535	9%	136	6,636	74%	10	460	5%	20	350	11%
増減														
合計	利用合計		幼稚園・保育園			小学校			中学校			養護・高校・大学・学校関係団体等		
	件数	人数	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合	件数	人数	件数割合
	9	379	7	150	3%	-2	236	-5%	1	-73	0%	3	66	1%

2) 一般プログラム

単位：人

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
利用人数	18,476	13,340	5,136	

⑤就農支援

1) 就農相談

単位：件

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
新規就農	9	8	1	
その他	4	2	2	

2) 就農研修

単位：件・人

項目	R5年度		R4年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
就農研修(実地)	2	10	2	8	0	2	体験イベント、業務委託は除く
就農研修(座学)	3	24	3	13	0	11	

⑥食品加工支援

単位：件・人

項目	R5年度		R4年度		増減		備考
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	
加工支援講座	59	404	53	336	6	68	
加工機器利用	364	720	343	655	21	65	

⑦イベント

1) 主催およびコラボイベント

単位：人

月	イベント名	参加人数	備考
5	田植え体験	41	新潟の特産物である「米」の栽培を通じ、地元農産物に対する愛着を高めてもらう企画。
5	とどろけ！和太鼓演奏	100	子供の日に合わせ、和楽器に触れ親しんでもらう企画。演奏中に飴まきや太鼓をたたくワークショップを開催し賑わいを創出。
5	親子アグリスクール「枝豆栽培&豆腐作り体験」	66	JA新潟かがやきとのコラボ企画（5月・8月の全2回開催し、参加人数は66名）
6	子ども夢基金「ひつじクラブリーダー養成講座」「子どもひつじクラブ」	171	羊の毛が製品になるまでの工程を学んでもらう企画（6・7・8・9・10・2月の全6回開催し、参加人数は171名）。
6	丸めて、包んで！新潟名物「笹団子づくり」	21	新潟県民なじみの笹団子を作ることを通じ、故郷への誇りと愛着を深めてもらう企画。
6	新潟県農業大学校 農産物の販売会	699	将来の農業者を応援する目的と周年祭の賑わい創出を意図した企画。
7	夏野菜の収穫体験&スパイスカレー作り	20	夏野菜の収穫とスパイスカレーを作る体験を通じ、野菜を身近に感じてもらう企画。
9	ぬか窯ごはんとまるごと野菜BBQ	32	もみ殻を燃料として活用し、昔の人の知恵からSDGSを学んでもらう企画。
9	おいしさ再発見！お米の食べ比べ	123	JA全農にいがた協賛。米の需要減少が続く中、4種類コシヒカリの食べ比べを通じおいしさ再発見の企画。
9	すくって当てよう！お米の重さ当てゲーム	101	JA全農新潟協賛。お米の重さ当てゲームを通じお米への親しみを持ってもらう企画。
9	令和5年度稲刈り体験	75	JR新潟ファーム・JR東日本との共催。特産物である米の収穫を通じ、地元産米への愛着と試食会によるおいしさ再発見の企画。
10	カボチャの重さ当てクイズ	101	カボチャの重さクイズを通じ、野菜に興味をもってもらう企画。
10	新潟の食べ物博士グランプリ	3	新潟の自慢の食べ物を、オリエンテーリングを通じ学んでもらう企画。
10	おもちゃカボチャとヒョウタン工作	133	農作物に触れながら、植物の多様性、食べ物の大切さを学んでもらう企画。
10	はじめてのお野菜せっけんづくり	47	廃棄食材を活用したせっけん作りを通じ、エコロジーを学ぶきっかけと体験の企画。
11	手作りバター&スコーンづくり（牛のエサやり付き）	52	牛乳からバターを作る工程を通じ、食生活を支える牛の大切さなどを学んでもらう企画。
11	窯炊きご飯のおにぎり&味噌汁づくり	11	窯炊きご飯のおいしさとおにぎりづくりを通してお米を好きになってもらう企画。

11	どんど焼きの一部を作ろう！その名はとばかき	5	どんど焼きに使用する「とばかき」を作る体験を通じ、伝統行事を感じてもらおう企画。
11	山崎糰屋の女将が教える糰パワー	20	簡単な調理体験を通じ、伝統食「糰」から広がる本当に体に良いものを学ぶ企画。
11	だいきらい野菜バイト	51	JA全農にいがたとの共催。小学生の8割が嫌いな野菜があるという調査結果から、収穫体験などを通じ、野菜の大切さを学ぶ企画。
12	サツマイモのツルでクリスマスリースづくり	53	廃棄素材のツルと羊の毛を利用するリースづくりを通じ、動植物からの恵を学ぶ企画。
12	クリスマスリース&米粉のジンジャークッキーづくり	28	ショウガを使ったお菓子作りを通じ、野菜の活用や美味しさを学んでもらう企画。
12	はじめてのたくあん漬け講座	29	ぬかを使用する昔ながらのたくあん漬け講座。
12	キムチづくり講座	12	ヤンニョン（たれ）から作る本格的なキムチづくり講座。
12	歳末大感謝祭	800	マルシン食品との共催。石窯ピザづくり、搾乳、えさやり体験などを実施。
1	稲わら細工、ミニわらほうきづくり	32	昔ながらの道具作りを体験し、親しみや自分で作る喜びを感じてもらおう企画。
1	カードゲーム「地域王」をやってみよう！	4	カードゲームを通じ、新潟市への理解と愛着を深める企画。
1	ふるさとまつり どんど焼き	1,000	地元の伝統行事として周辺のコミュニティ協議会と共催。
1	みんなで包もう！ふるさとの味「笹団子づくり」	33	郷土菓子「笹団子」を自ら作ることを通じ、郷土への誇りと愛着を深める企画。
1	郷土料理 麩ずし	14	岩船麩を使った麩ずしづくりを通じ、知られざる郷土料理を味わう企画。
2	収穫野菜で巻きずしづくり	19	節分に合わせた巻きずしづくりを通じ、米の消費拡大と季節の食事を楽しむ企画。
2	牛のブラッシングとえさやり体験	39	普段経験できない牛のブラッシングを通じ、動物に触れあい、身近に感じてもらう企画。
2	糸から布を作ってみよう！段ボール織り機体験	61	毛糸から布地を作る体験を通じ、機織りの知識と羊とウールを身近に感じてもらう企画。
2	あつあつおやきづくり	56	冬野菜の大根・人参を使ったおやきづくりを楽しんでもらう企画。
2	大豆の香りを楽しむきなこづくり	58	大豆からきなこを作る過程を通じ、大豆の大切さ、出来上がるまでの大変さなどを学ぶ企画。
2	親子で豆腐づくり講座	32	大豆の日にちなみ、新潟で生産量の多い大豆が食生活を支える大事な食材であることや加工食品への関心を持ってもらう企画。
2	糰屋が教える味噌づくり講座	21	黄糰を通常の1.5倍使用した味噌づくりを通じ、糰や味噌づくりの過程を学ぶ企画。
3	おいしさあふれる！サンドイッチづくり	26	総菜と越後姫を使用したサンドイッチづくりを通じ、野菜嫌いの克服、越後姫のおいしさを味わってもらおう企画。
3	いちごが主役♪カップケーキ作り	47	越後姫を使用するお菓子作りを通じ、新潟のブランドいちごのおいしさなど学ぶ企画。
3	とれたてフレッシュ♪いちごピザづくり	23	越後姫を使用する石窯ピザづくりを通じ、ブランドいちごへの興味を持ってもらう企画。
3	毎年人気♪いちご大福づくり	39	越後姫を使用する大福づくりを通じ、ブランドいちごへの興味を持ってもらう企画。
3	水なしで作る♪春色スノードーム	267	調理だけではなく、いちごをあしらった工作体験を通じ学び、楽しんでもらう企画。
3	親子でつくろう！野菜ひな寿司教室	45	野菜を使ったひな寿司づくりを通じ、野菜への興味や好奇心を引き出し、野菜嫌い克服につなげる企画。

2) 外部団体等主催イベント

単位：人

月	イベント名	人数	備考
6～2月	【子ども夢基金】 羊リーダー養成講座 子どもひつじクラブ	185	主催：曾野木アトリエ

2. 広報

1) 実施内容

媒体等	実施時期	料金	内容等
バス広告	平成30年度～	製作・出稿費	南区バス協賛広告料
白根大凧合戦への協賛	6月	協賛費	白根大凧合戦協賛広告料
新聞（新潟日報）	1月	出稿費	新潟市南区年賀広告協賛
他施設とのWEBリンク	随時	無料	
SNSなどへのリリース	随時	無料	
パブリシティ	随時	無料	テレビ、ラジオ、新聞、情報誌、WEB

*その他施設パンフレット、市報、HP、自主作成チラシ（アグリ通信含む）、ポスター有

2) ホームページ

単位：回

	R5年度		R4年度		増減		備考
	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	更新回数	閲覧数	
合計	419	131,137	337	101,079	82	30,058	

3. 施設の管理状況に関する事項

①会議等

単位：回

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
職員全体会	0	0	0	毎日朝礼で情報共有等行うとともに、都度連絡書面を回付した。
正副館長会議	12	12	0	原則毎月
イベント等会議	12	12	0	原則毎月
出店者連絡調整会議	6	6	0	都度、連絡調整も行った。
その他	2	5	-3	当グループ運営会議等

②職員研修等

単位：回

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
コンプライアンス研修	1	1	0	参加者延28名*欠席者には資料配布
職員研修等	7	7	0	AED救命講習・嘔吐対応研修など

4. 収支状況

「新潟市アグリパーク 令和5年度 収支状況報告書（令和5年4月～令和6年3月）」を参照

5. 自主事業・利用促進

自主事業売上

単位：円

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
視察料	171,000	213,000	-42,000	
自動販売機手数料	424,356	454,553	-30,197	
生乳代金	1,012,288	576,375	435,913	
その他収入	481,650	265,750	215,900	
合計	2,089,294	1,509,678	579,616	

6. その他

①利用者の満足度（アンケート）

単位：人・％・ポイント

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
アンケート回答者数	177	83	94	アンケート回答者数177名
満足度	96.0%	93.9%	2.1%	上記回答者数のうち満足と回答した割合

②クレーム

単位：件

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
クレーム	3	0	3	誠意をもって対応し、解消した。

②市内産業への貢献

単位：ポイント

項目	市内割合			備考
	R5年度	R4年度	増減	
再委託業者	100.0%	100.0%	0.0	7社中7社
職員	90.9%	93.7%	-2.8	33人中30人

⑤地域・関連団体等との連携

単位：回

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
連絡調整会議等	5	5	0	

④ボランティア

単位：人

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
ボランティア（延べ）	1,110	1,190	-80	

③社会貢献

単位：人

項目	R5年度	R4年度	増減	備考
障がい者雇用（延べ）	0	0	0	

以上